広報
さめがわ

第121号
昭和38年
12月10日発行

編集兼発行
鮫川村役場
鮫川村公民館
塙町　佐藤印刷所

静かにくれていく
昭和三十八年——
七月の稲作被害は
懸命の消毒にも抵抗して
相当の減収となつた。
来年こそ
品種も考えよう
苗代も工夫しよう……
のぞみを来る年にかけ
去りゆく年を
おくりましょう。



○

馬産地のほまれ高かった鮫川村の馬も、戦後は減る一方で昨年からは名物の駒せりも廃止されました。

しかし馬に代る和牛、乳牛の増殖は目ざましく、現在では馬産はなやかなりし頃よりも、飼育、生産の頭数は多くなり、依然として畜産王国を誇つております。

畜産はこれからの成長産業として、一層拍車がかけられることでしょう。

畜産経営の根幹は飼料の自給にあります。飼料畑の設置裏山には小規模牧野、村の数箇所には大規模の共同放牧場がほしいものです。

この際、国有林の解放が切に望まれます。

11月の人口と世帯

人口	7.835	(−19)
男	3.872	(−22)
女	3.963	(+3)
世帯数	1.239	(−13)

お嫁さん方の声

ゆつくり休める日が欲しい

小使いも月ぎめで

村では昨年から文化祭行事の一かんとして「お嫁さんに感謝する会」を開いていますが本年も十一月二十四日に四百名ちかくのお嫁さん方が公民館で楽しい一日をすごしました。

これは日ごろあまり外にでられないお嫁さん方に、ゆつくり休みながら楽しむ機会をつくつてあげたい、との考えからでた催しですが、本年はこの会の終了後に各大字の代表者の方々に集つて頂き役場の会議室で、村長、助役、公民館長、婦人会長さんをかこんで座談会を催しました。つねに家庭の労働力の中心になつて、もくもくと働きつづけるお嫁さん方から、いろいろな意見がでましたが、そのうちの主なものを次に紹介します。

保育所と母子センターを

小さい子供があると、どうしてもそのほうに手がとられて仕事がハカどりません。子供を預かつてめんどうをみてくれる施設が欲しい。

私は浅川の母子センターでお産をしましたが気がねなくお世話になることができました。経費もいろいろ計算すると決して高いものではないでしよう。など切実な要望がだされました。

お嫁さんの集い

近ごろ村内の各部落にお嫁さんの集りができつつあり共通の話題を中心にした話し合いの場となつていますが月に一回づつ会場をもちまわりで集つている新宿上部落一ヶ月百円づつ積立て年一回の旅行をしている岫長部落など、いくつかの実例が話されました

このごろは村や公民館婦人会などで若いお嫁さんの集りがもたれているので、嫁の出る機会は多くなつたが年配の婦人のでる機会がなくなつたとコボされるので、私たちも出づらくなるから考えて欲しいとの声もでました。

自由な時間が欲しい

農家の嫁さん方は休日といつても家庭の雑用整理に追いまわされ、実際に気ラクに休めるのは実家に帰つた日ぐらいで、一年に十日もあれば良いほうだと言われています。

この会では一日のなかで親に気がねしないですむ時間が欲しい。本や新聞を読む時間など全くない。ムコとりは良いかと思つたら親とムコのあいだにはさまつて、気をつかうことが大変で、実家でゆつくり休める他のお嫁さんがうらやましい、などの話し合いがなされました。

嫁を人間として理解していただきたい

他の町村からみると鮫川に嫁にくるのを嫌う向があるようです。これは不便な山村のせいがあるでしようが、そのほかに仕事のこと人間関係などに問題があることと思われます。

このことでは仕事はそんなに辛いとは思わないが、家庭のなかで嫁を労働力としてばかりみないで、人間としてみてくれるような思いやりが欲しい、小使いも少なくとも良いから月ぎめで支給してくれたら、など多くの意見がでましたが、なかに富田のある部落のように嫁も家庭の一員として、ゆつくりできる所もあるようです。

勉強することは休むことだろうか

戦後婦人の学習活動が盛んになつて月に一回や二回は何らかの集りに参加する機会がありますが、嫁がこのような会にでることは休みと同じにみて、次の休日に休ませないようなところもあるということです。

目まぐるしく移り変る世の中に遅れないように生きてゆくためにも、たえず学習することが必要です。学習活動の必要なことを理解して貰いたいとの声がでました。

その他に耕転機の運転試験を勉強する機会をあたえて欲しい。休日に新暦と旧暦がいりくんで部落ごとにバラバラでゆつくり休めない、なんとか統一して下さいなど、数多くの要望やら意見がだされましたが、紙面の都合で省略させて頂きました。

みんなの力で明るい村を

これらの意見や要望などに石田村長は、民主政治のたてまえは皆さん方の声が大きく議会に反映されて、社会の建設が進められてゆくものですから、当局や議員さん方に皆さんの要望を絶えず伝えて下さい。

皆さんの希望のなかですぐにできることは議会の協力を得て実行してゆきたいと話され、村政の現状説明があつて会を閉じました。

（文責　鈴木　一）

38年想い出の集い



敬老会も毎年盛んに行われ今年は三一二人の高今者がたのしい一日を過された



八〇才になつて赤いザブトンを贈られる昔の農事組合長さん。



お嫁さんに感謝する会に出席された美しい村のお嫁さんたち



母子センターに保育所に子供の遊び場までお嫁さんたちの要望はつきない。

おめでた

一〇月
二二日　八斗蒔　青戸　博美
二六日　田ノ上　下重　昭雄

十一月
一一日　遠ケ竜　森　隆弘
一二日　戸　倉　関根　秋子
一三日　滑　石　阿久津　孝
一五日　折　戸　阿久津健一
一五日　石　井　塩田　昭義
一六日　下野町　吉田　弘
一六日　鍛治平　根本　貞男
二〇日　西　高坂　明
二一日　彦次郎　赤坂　蜂子
二三日　田尻　高久　秋子

おくやみ

十一月
一三日　余所内76　関根　光丸
一四日　大石草68　岡部久次郎
二〇日　広畑60　小湊　要

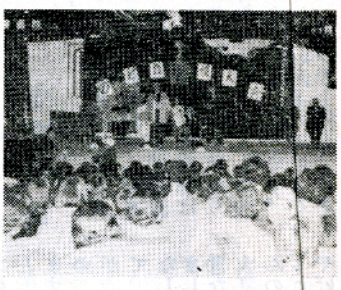
◀今月の納税◀

固定資産税第3期分

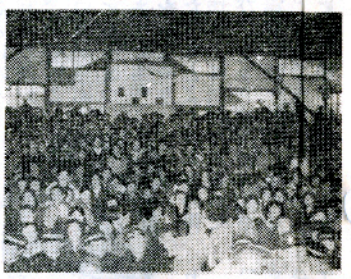
国民健康保険税第4期分

12月25日までに努めて完納して下さい。

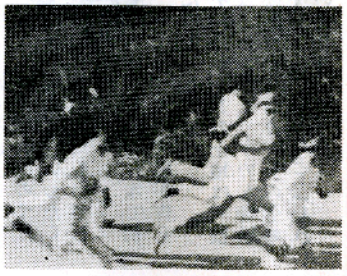
38年想い出の集い



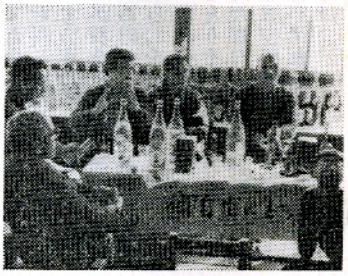
文化祭初まつて十六年。のど自慢の人気だけはいつまでたつてもかわらない。



今年は各区対抗をやめて、個人賞で自慢ののどを披露した。歓声とよめく会場。



沿道全線の人気をわかせる駅伝競争。西山チームが断然優勝。準優勝は東石。



商工展の人気は、きき酒会に集中。左党が後から後からおしかける。

お知らせのひろみ (5)

稲作をかえりみる

村長　石田卯子八

昭和三十八年は春以来夏季低温、冷害型という長期予報も出ていたので、農家の方は十分警戒をされました。

それが健苗育成早蒔早植ということで、畑苗代が普及した要因ともなりました。

ところが、早植の時期に気温の振幅がはげしく、数日の差で大変な植え傷みの差ができてしまいました。

それに苗代期のイモチ病発生も早かつたようです。

七月の病害、八月の低温と続き、懸命の努力にもかかわらず、農家により、品種により、施肥や耕種法の差によつて、収量に大きな較差をつけてしまつたわけです。

昔から「カドガシ」といわれた現象が、今年の稲作の実体です。

阿武隈山系高冷地帯には、従前からこの現象があり、いつも局地的に個人差をつけて現われるため、国や県の援護対象とならないことが多いので困るのであります。

七月病害発生の際は、村、農協、共済が提けいして、器材の提供、薬剤のあつせんに当り、農事組合の消毒作業も活ばつを極めました。

努力に対して報えられることの少なかつたのは残念ですが、この気象条件下で、この程度に止め得たことは、技術と努力の賜というより他はありません。

今年の政府売渡米の予約数量は二四、三九七俵でしたが最近一八、五四四俵に補正されましたから、二四%の減ということになります。

凡そ昭和三十五年度政府売渡実績を幾分上廻る数量に落着いたわけです。

対策としては

共済金の早期支払

再生産資金の融通

賃金収入の増加

臨時製炭

生活保護

その他を手配中でありますが、それぞれ努力しております。

稲作のうえで考えるべきことは

小面積耕作の場合はともかく、全面積の畑苗代育苗ということは問題がありましょう

畑苗代の苗は移植期間がおくれる程、病害の発生率が多くなりますし、立枯れやイモチ予防のためには、土壌消毒茎葉消毒が不可決の要件と思います。

また施肥量やその他の耕種技術にしても、わが村としては、安全稲作の考え方をはなれてはならないでしょう。

根本的には、稲作への依存度を軽くして、畜産や養蚕、特用作物にウエートをかける農業経営に進むことをお願いしたいのであります。

農業構造改善のねらいも、わが村の場合、稲作の基幹性は失われないが、耕地の点、散在による地形的な条件があるので、省力経営の方針を堅持しながら、和牛や養蚕の規模を拡大する計画が考えられているわけであります。

× × ×

(ん)(き)(ん)(ね)

（国民年金にはどんな人が入るか）

国民年金には他の年金制度に入つている人や、年金をうけている人以外の人で、二〇才になつたときはすべて入らなくてはなりません。なお他の年金制度に入つている人の配偶者は入らなくてよいことになつているが、希望によつて入ることができます。

（国民年金の保険料は）

保険料は定額制で二〇才から三四才までは月額一〇〇円三十五才以上は月額一五〇円で、保険料に相当する国民年金印紙を買い年金手帳にはりつけて納付することになつています。

（保険料は免除がうけられる）

国民年金に入つても、無職者や失業者というように、所得がなかつたり、少なくて保険料の納入ができない人もありますが、このような人には申請により保険料の免除をうけることができますから、係に申しでて下さい。

（住民課）

明るい茶の間運動

青少年が心身ともにすこやかに成長するためには、その環境がたいせつですが、特に家庭のふんいきは、大きな影響を与えます。家庭内の不和や無関心は、子どもを不幸に追いやるもとです。そこで、親と子が心からうちとけあい何でも話しあえる明るい家庭を築いてゆこうという願いのもとに「明るい茶の間運動」をすすめることになりました。

スローガン

伸びる子は、明るい家から

社会から

一家そろつて明るい茶の間

かくさずになんでも話せる親と子に

実施事項（例）

1. 子ども会、父兄会、母と子の会、などの合同行事として新年会、映画会等を開催する。
2. 親と子の座談会を開いてお互いの意見や希望をのべあう。

（住民課）

▼国民健康保険税が安くなります

今年の保険税が減額される世帯は、前年の所得の合計額が、九万円以下の世帯と納税義務者を除く被保険者数に一万五千円を乗じて得た額と九万円との合算額以下の所得である世帯であります。

例・七人家族の世帯の場合

（6人×15,000円＋90,000円＝180,000円）

前年の所得が十八万円以下であれば減額の対象となります

本村の該当世帯は約二百戸程であります。

なお減額が確定しましたら該当世帯に通知いたします。

（税務課）

告知版

もれている方は ありませんか

来年の一月十五日に行われる成人式に参列する該当者は、昭和十八年一月十六日より十九年一月十五日までのあいだに生れた方で、住民登録により次の方々が該当されていますがもれている方は早目に役場住民課か公民館事務局に連絡して下さい。

成人者には成人式の通知をかねてお年玉つきの年賀ハガキを送ります。

赤坂西野（十五名）
石井美智子、藤田忍、薄葉正一、白坂寛、矢吹ヨシイ、矢吹栄子、霜田幸己、高坂芳男、高坂貞子、高坂勝己、高坂愛子、吉田フミ、藤田カツ枝、舟木寿郎、舟木喜久男

西山（九名）
根本イチ子、阿久津和子、関根文枝、松本和子、阿久津好夫、大竹洋喜、市川功二、水野キク、大竹ヨシイ

赤坂中野（十名）
大池義文、湯座チヰ子、円井一郎、湯座照雄、湯座和弥、大楽朝枝、矢吹カヲル、鈴木寛重、芳賀チイ子、穂積ヨシ子。

赤坂東野（十四名）
矢吹ヨシイ、遠藤富子、諸橋正則、関根フジ子、藤田ミユキ、水野輝男、佐藤保、水野セツ子、緑川正美、前田サト子、中川西一男、玉木幸子、荒川智枝子、森厚

富田（七名）
円谷鶴男、青戸孝夫、赤坂ハルノ、青戸代吉、船木久子、坂本重男、松本チヨ

渡瀬（九名）
山形浩、芳賀健一、鈴木隆男、下重トメ子、星フミ子、野内喜一、根本チヨ子、芳賀義郎、蛭田邦寿

青生野（五名）
緑川スミ子、岡部イネ子、生田目勝利、長井セイ子、金沢助右門

感想文募集

成人になつて感じたことを詰何でも結構ですから400字めの原稿用紙3枚以内にまとめて下さい。

締切りは1月10日までに村公民館事務局に。応募者全員に記念品を差あげるほか三位までの入賞者に賞品を贈ります。

納税奨励作品の入賞者

自主納税推進運動の期間中に、小中学校児童生徒の納税奨励作品として、標語及びポスターを募集しましたところ多数応募がありました。その中から、審査の結果次の方々が入賞され村長賞が贈られました。

（標語の部）
一等　鮫小五年　円井寿美子
〃　鮫中三年　関根アキ
〃　富小六年　中川西弘
二等　鮫中三年　蛭田美代志
他五名
三等　鮫中三年　松崎三男
他十一名

（ポスターの部）
一等　富小五年　赤坂ひろ子
三等　〃六年　青戸良夫
他四名

完納のてぬぐい
母がほつかぶり

（税務課）

郷土の伝説

大根屋敷の伝説

中井恒雄

東野村に大きなお寺がありここの貞坊さんは外国語も出来るとても立派な坊さんでした。檀家も竹貫郷はもとよりいわきの浜までありました。その時この寺の貞坊さんが寺にかくまつて、あついもてなしをしてやりました。もとより外国語の得意な坊さんは勉強出来るので大喜び。キリシタンは貞坊さんの態度にカン銘し、喜びました。そして外国からのおみやげにと大根の種を一袋くれかに東野村にたどりつきました。村では大さわぎ国にはきびしいおきてがありキリシタンのことになると誰れもが嫌います。



坊さんは早速それをお寺の庭畑に蒔きました。大根の栽ばいもこのキリシタンから教わりやがて実つた大根のすばらしさといつたらたいしたものでした。

この時日本で初めての大根が作られたのでした。

その時からこの土地は大根屋敷といわれた、今でも寺屋敷跡が残つており、その寺の分寺が竹貫にあると云われています。

窓口の保健

流行性感冒の予防と手当

生まれてから一度もカゼをひいた記憶がないなどという人はあまりないでしょう。カゼは老若男女を問わず寒気の刺激によつてかかりやすい病気です。「たかがカゼぐらい」と、かんたんに考えますが、カゼはよく〝万病のもと〟などと言われているように、かんたんにきめつけることはきんもつです。

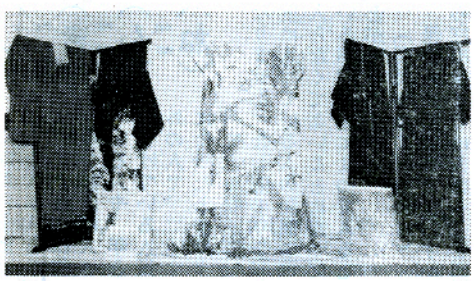
▼原因　からだの抵抗力が低下したときに寒気にあたるとかかりやすく、ビールスが体内に侵入すると、一日か二日で突然なんの前ぶれもなく頭痛を伴つて発熱します。ときにはせきと頭痛、鼻汁と頭痛またはせきとのどの痛みと頭痛で初まることもあります。患者のせきやくしやみによつて、鼻汁やつばやせきについたビールスが飛び散り、それを吸つたことによつて感染します。

▼手当　患者を安静にさせることが第一で、肺炎などの合併症がない場合は床について暖かくし、安静にしているとなおることが多いものです。老人は熱がさがつても正常の生活にはなかなか戻れないから入浴などは、熱がなくなつても二・三日は控えたほうがよいでしょう。

治療の三原則は、まず安静、保温、栄養です。

▼予防　集会等のため参加する場合はマスクを使用し、インフルエンザが流行しているときにはなるべく外出は慎しみ、特に人ごみのなかに出入りする事は避けなければなりません。外出後は必ず、うがいの励行実行して下さい。

（住民課）



みなさん気軽にご利用下さい

新宿小松幸一様方
申込　江面ハルさんに

婦人会で備えつけている花嫁衣裳は、年々利用者がふえていますので貸出料を積立てた金で写真のような衣裳を新調しました。

十二月一日より貸し出しますが料金は新調の振袖が三千五百円で、他の三組は二千円から二千五百円です。

なお仲人げんざん用の衣服もとりそろえ若い方向、中年向六百円、老年向四百円、も服五百円で貸出します。以上はいずれも一回の貸出料金です。

あとがき

今年も旬日をあますのみとなりました。ふりかえれば短かくも長くも感じられた一年です。三年続きの豊作の夢はやぶれ稲作にたよる農業に反省の時がやつてきたようですケネデイ暗殺の報は私たちに暗い感じをあたえました。皆が幸になるためにお互いの人格を尊重する民主主義を育てましょう。

新らしい年を幸福に迎えられるよう祈ります